

離島子供交流会

12月1日(水) 離島子供交流会が行われました。
糸島市の姫島小学校の子供たちが、地元の花について学習したことを、多くの人に知らせたいという思いの下、福岡県内の離島にある小学校に声をかけ、実現したオンラインによる交流会です。
当日は、姫島小学校(糸島市)、玄界小学校(福岡市)、相島小学校(新宮町)、藍島小学校(北九州市)、地島小学校(宗像市)が参加しました。
12月2日(木)は、椿油の学習をゲスト・ティーチャーを交えて行いました。



藍島小

地島小

相島小

玄界小

姫島小



5年生はフリップを使って、わかりやすく、はきはきと発表しました。



はじめての離島の子供たちの交流会は大成功に終わりました。

姫島小学校の子供たちが進行をしました。

はじめに、自己紹介です。地島小の子供たちは、「けん玉」「一輪車」「三線」「ソーラン節」などを紹介しました。その後、それぞれの学校が、海に関して学習したことを発表しました。それを聞いた他校の子供たちは、発表内容について質問したり、感想を発表したりしました。地島小学校は、5年生の二人が、合成洗剤とせっけんの違いを発表し、他校からの質問にもしっかり答えていました。どの島の子供たちも海を大切に思う気持ちが伝わってくる交流会でした。

椿油の学習

椿油の学習では、地島の椿油をもっと多くの人に知ってもらい、使ってもらいたいと願っている地島応援隊の方を招きました。

応援隊の方が、どうしたらいいと思うかたずねると、子供たちは、次々にアイデアを出していきました。



買った人に読んでもらう手紙を書こう。

ポップをつくって売り場に飾るといい。

試食コーナーがあるといいかもしれない。

道の駅で、店頭販売するといいかもしれない。

椿油のキャラクターをつくったらいい。



これから子供たちは椿油の学習を深め、自分たちのアイデアを、商品づくりにいかしてもらいます。この学習は、地島の特産物「椿油」に誇りをもつとともに、その商品化に少しでもかかわることで、子供たちは、社会と自分とのつながりを意識するよい機会になると考えます。

これからの学習が楽しみです。